

市役所本庁舎および 市民会館の建設に向けて

工事の状況

現在、建物の地下工事はほぼ完成し、秩父夜祭過ぎからは、建物地上部分の工事が始まりました。着工から約1年をかけ基礎工事を行いました。建物を支える基礎部分は非常に重要であると同時に、場所により深さや厚さなど形状が異なり、施工の難しい箇所でもありました。



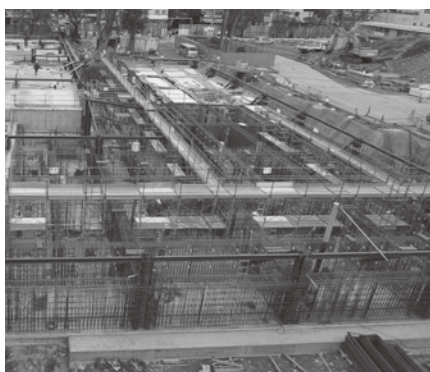
屋上庭園からの工事現場の様子

りました。しっかりと施工した施工を行い、厳しい検査のもと、建物の地上部分を支える丈

夫な基礎が完成しました。地上部分の工事では、秩父地域の工場で作られた鉄骨が現場内に立ち始め、これから2階、3階、4階へと工事が進み、高さ26・8mの新しい市役所本庁舎と市民会館が完成する予定です。

工事現場の様子は、歴史文化伝承館3階屋上庭園よりご覧いただけます。日々進行していく工事の様子をぜひご覧ください。

市役所本庁舎等建設推進室
☎2616872 FAX 2211363



基礎工事の様子

お気軽にお越しください！ ふらっと市長室

●1月20日(水)

9:00～10:00 吉田総合支所

11:00～11:30 伝承館1階

●2月17日(水)

9:00～10:00 大滝総合支所

11:00～11:30 伝承館1階

※日程は変更となる場合があります。

☎秘書広報課 22-2505

東日本大震災義援金

東日本大震災義援金へ多くの温かいご支援をお寄せいただきありがとうございます。

●12月16日現在

52,019,873円

お預かりした義援金は、日本赤十字社埼玉県支部へ送金し、義援金配分委員会を通じて全額被災された方々のもとへ届けられます。義援金をお寄せいただきました個人・団体の皆さんに、心から御礼申し上げます。

※義援金の受付期間は平成28年3月31日まで延長されました。

☎社会福祉課 25-5204

どうする？ 秩父市の公共施設



全国の市町村において公共施設の老朽化対策が大きな課題となっています。本市ではこの課題に対応するため、国からの要請もあり、公共施設を適切に管理していくための基本方針である「公共施設等総合管理計画」を策定し、課題解決に向け、取り組みを始めています。そこで、何が問題なのか、本市の公共施設の現状等をお知らせします。

①老朽化が進んでいます。

本市は市町村合併もあり、多くの公共施設を保有していますが、そのうち約4割は建築から30年以上が経過しています。古くなれば修繕箇所が増えると同時に、安全に利用するための大規模改修や建て替えなどを実施しなければなりません。

②大規模改修等にはお金が必要。

大規模改修や建て替えには多額の費用がかかります。本市の全施設を改修等した場合の費用を試算した結果、現在の財政状況ではとても賄えないことがわかりました。

③財政状況は年々厳しく。
現在の人口は約6万5千人ですが、平成52年には4万5千人を下回る推計です。労働人口も減ることから税収の減が見込まれます。

以上のことから、全施設を維持し続けることは難しいと同時に、人口減に伴う施設利用者の減少や少子高齢化による利用者のニーズの変化も考慮する必要があります。そこで、公共施設のあり方や活用を今後どうするか、市民の皆さんと一緒に考えていこうと、公共施設の現状と課題、公共施設マネジメントについてご理解いただくため、シンポジウムを開催します。

公共施設の「これから」を 考えるシンポジウム

とき 2月13日(土)

午後1時30分～4時

ところ 歴史文化伝承館2階ホール

内容 専門家による「基調講演」

および「パネルディスカッション」により、分かりやすくお伝えします。

☎FM推進課 26-11131

※FMとは「ファシリティマネジメント」の略で、公共施設等の施設・設備（ファシリティ）をより少ないコストで有効に活用する（マネジメント）という意味です。